

ジャコウアゲハ



ジャコウに似た香りを出すことが、その名の由来。全国的に数が少なく、岡山県北でもその姿を見ることはまれですが、布原の赤木良夫さん宅ではジャコウアゲハが幼虫のときに食べるウマノスズクサを栽培し保護に努めてきました。多い時には30〜40頭が舞うこともあるそうです。初夏の訪れを告げるチョウとして鏡野町の蝶に指定されています。みなさんもぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょう。



ジャコウアゲハの卵

上齋原地域の中津河地区の集落から中津川沿い約4kmさかのぼり、右岸の支流沿いの遊歩道をさらに400m上流に上ったところにあり、上部のせり出した岩から水が滝となって流れ落ちています。滝の裏側から景色が見渡せることから別名「裏見の滝」ともいわれています。今年例年になく雪が多かったため撮影に行った5月13日でも滝に通じる遊歩道にもかなりの残雪がありました。



岩井滝